



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 クワザワ

コード番号 8104 URL <https://www.kuwazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画部長 (氏名) 藤川 俊明 TEL 011-864-1111

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	17,899	△3.1	△247	—	△198	—	△226	—
2019年3月期第1四半期	18,475	2.5	△222	—	△151	—	△130	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △257百万円 (-%) 2019年3月期第1四半期 △143百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△15.07	—
2019年3月期第1四半期	△8.70	—

(注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	41,112	12,676	30.5
2019年3月期	42,513	13,023	30.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 12,542百万円 2019年3月期 12,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	0.2	950	2.8	1,160	0.3	650	△15.1	43.25

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	16,694,496株	2019年3月期	16,694,496株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,665,014株	2019年3月期	1,664,968株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	15,029,493株	2019年3月期1Q	15,029,653株

(注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。期中平均株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、良好な雇用所得環境を背景に個人消費が緩やかに回復したことに加え、企業収益の好調に伴い設備投資が底堅く推移したものの、海外経済の減速により輸出が減少したことなどから、景気は停滞色を強めています。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、公共投資が2018年度補正予算の執行本格化に伴い回復し、設備投資も人手不足や設備老朽化への需要を中心に拡大しました。

一方、持家が消費税増税前の駆け込み需要により増加したものの貸家は需要一巡の影響により減少したことから住宅投資が落ち込んだことに加えて、労務費や建設資材価格の高騰もあり、厳しい経営環境となりました。

このような環境において当社グループは、顧客獲得に向けて営業力の強化と施工体制の拡充を推進したほか、非住宅部門への積極的な営業も展開いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高178億99百万円(前年同期比3.1%減)、営業損失は2億47百万円(前年同期は営業損失2億22百万円)、経常損失は1億98百万円(前年同期は経常損失1億51百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は、前年度に計上した特別利益の減少などから2億26百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億30百万円)となりました。

なお、当社グループの第1四半期連結累計期間の業績は、建設工事の完工時期が下期中心となるため、利益面において著しく低下する季節特性があります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建設資材

住宅投資の減少などから売上高は131億40百万円(前年同期比4.7%減)となりましたが、販売費等の削減による効果もありセグメント利益は40百万円(同32.5%増)となりました。

建設工事

売上高は38億18百万円(同4.2%増)となりましたが、競争激化による利益率の低下などからセグメント損失は1億36百万円(前年同期はセグメント損失1億2百万円)となりました。

資材運送

売上高は8億31百万円(前年同期比8.9%減)となり、セグメント利益は48百万円(同32.7%減)となりました。

その他

売上高は1億9百万円(同0.3%増)、セグメント利益は37百万円(同6.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比14億円減少して411億12百万円となりました。流動資産は同13億20百万円減少して300億20百万円、固定資産は同80百万円減少して110億91百万円となりました。流動資産の減少の主なもの、現金及び預金の減少によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同9百万円減少して77億80百万円となりました。無形固定資産は、同40百万円減少して4億46百万円となりました。投資その他の資産は、同29百万円減少して28億64百万円となりました。

(負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比10億53百万円減少して284億36百万円となりました。流動負債は、同8億91百万円減少して245億55百万円、固定負債は同1億61百万円減少して38億80百万円となりました。流動負債の減少の主なもの、電子記録債務の減少によるものであります。固定負債の減少の主なもの、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比3億47百万円減少して126億76百万円となりました。この減少の主なものは、利益剰余金の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の30.3%から30.5%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,110	4,687
受取手形及び売掛金	20,363	19,197
商品及び製品	416	513
販売用不動産	1,001	1,078
未成工事支出金	2,209	4,129
原材料及び貯蔵品	55	69
その他	266	432
貸倒引当金	△82	△86
流動資産合計	31,341	30,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,597	3,550
土地	3,313	3,347
その他(純額)	878	882
有形固定資産合計	7,790	7,780
無形固定資産		
のれん	312	278
その他	174	167
無形固定資産合計	487	446
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	212	211
その他	2,819	2,792
貸倒引当金	△137	△138
投資その他の資産合計	2,894	2,864
固定資産合計	11,172	11,091
資産合計	42,513	41,112

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,148	12,835
電子記録債務	7,154	5,911
短期借入金	2,880	1,830
1年内返済予定の長期借入金	290	290
未払法人税等	280	33
賞与引当金	220	127
完成工事補償引当金	33	34
その他	2,438	3,493
流動負債合計	25,446	24,555
固定負債		
長期借入金	2,286	2,214
退職給付に係る負債	85	91
資産除去債務	3	3
厚生年金基金解散損失引当金	224	224
その他	1,442	1,347
固定負債合計	4,042	3,880
負債合計	29,489	28,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	326	326
利益剰余金	12,384	12,067
自己株式	△446	△446
株主資本合計	12,680	12,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222	190
退職給付に係る調整累計額	△12	△11
その他の包括利益累計額合計	209	178
非支配株主持分	133	133
純資産合計	13,023	12,676
負債純資産合計	42,513	41,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	18,475	17,899
売上原価	16,877	16,337
売上総利益	1,597	1,561
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	760	762
その他	1,059	1,046
販売費及び一般管理費合計	1,820	1,809
営業損失(△)	△222	△247
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	18	16
持分法による投資利益	9	4
雑収入	59	38
営業外収益合計	95	66
営業外費用		
支払利息	15	14
債権売却損	4	0
雑損失	3	3
営業外費用合計	24	18
経常損失(△)	△151	△198
特別利益		
固定資産売却益	175	—
投資有価証券売却益	—	0
補助金収入	83	—
特別利益合計	258	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	72	0
固定資産圧縮損	82	—
投資有価証券評価損	—	0
特別損失合計	154	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△47	△199
法人税等	82	27
四半期純損失(△)	△130	△226
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△130	△226

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△130	△226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△32
退職給付に係る調整額	3	0
その他の包括利益合計	△13	△31
四半期包括利益	△143	△257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△143	△257
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設資材	建設工事	資材運送	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,788	3,663	913	18,365	109	18,475	—	18,475
セグメント間の内部売上高 又は振替高	152	84	162	399	19	419	△419	—
計	13,941	3,748	1,075	18,765	129	18,894	△419	18,475
セグメント利益 又は損失(△)	30	△102	71	△0	35	35	△258	△222

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、太陽光発電事業、保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△258百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△265百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設資材	建設工事	資材運送	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,140	3,818	831	17,789	109	17,899	—	17,899
セグメント間の内部売上高 又は振替高	176	65	137	379	21	401	△401	—
計	13,316	3,883	969	18,169	130	18,300	△401	17,899
セグメント利益 又は損失(△)	40	△136	48	△48	37	△10	△237	△247

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、太陽光発電事業、保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△237百万円には、セグメント間取引消去35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△272百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。